デジタル ケーブル探索機 PTR620 簡単取説



PTR620は最も強い信号を捕捉するとそれよりも低いレベルの信号を自動的に"0"にするオートピークホールドを装備します。

下記の要領で有効性を体得されることをお勧めいたします。
①全ての対象ケーブル上を1度受信機でゆっくりとスキャンします。
②もう一度同様にスキャンすると候補のケーブル(群)が浮上します。
③浮上したケーブル(群)のみをそのままさらにスキャンします。
④一つのケーブルのみが最後まで受信状態を保つことを確認します。
注:【弱】ボタンはリセット機能があるため、押さずに作業を行います。
⑤上記の作業で得られた結果の確認のため、【弱】ボタンをもう一度押し(リセット後①～④を繰り返して結果を再確認します。

1 送信機のセット

①アダプターの取り付け



●送信機にアダプターコードを接続
●無極性(方向性無し)

②アースに接続



●クリップをアースと目的線それぞれに接続します
注意:活線に先に接続すると感電の恐れがあり危険です。

③ 目的線に接続



●ワニ口クリップをローカルの**活線側に接続(耐圧600VAC)**
●無電圧線にも対応
●付属のブレードを使ってコンセントの**活線側**に接続
(プラグに直接接続するより高感度で探索ができます)

重要:通常は目的線のローカル側に送信機を設置

2 電源の(入・切)操作

送信機の電源の入れ方



●送信機の電源ボタンを1回押す
●3個のLEDの同時点滅後、1つが点滅開始

活線のLEDが点滅



活線※
感電注意

ショートのLEDが点滅



ショート
短絡回路

オープンのLEDが点滅



オープン
開放回路

※発信機のアダプターコードの一方を活線に接続し、一方をアースへ接続した場合にのみ活線表示となります。

送信機の電源の切り方



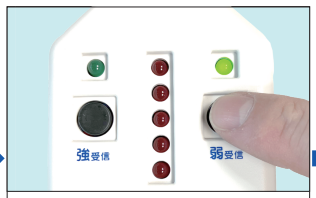
●送信機の電源ボタンを1回押す
●LEDの点滅停止でオフを確認

遠距離探索



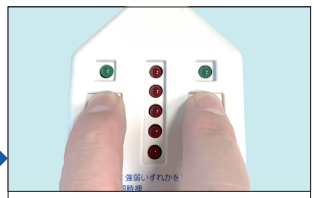
受信機の電源ON【強】
●強受信モード
●受信機の電源【強】ボタンを1回押す

近距離探索



受信機の電源ON【弱】
●弱受信モード
●受信機の電源【弱】ボタンを1回押す

受信機の電源OFF



●両方のボタンを同時に1回押す
●ピピピ音の後停止

オートパワーオフ機能

送信機…30分後自動で切れます
〈解除方法〉
電源ON状態で電源ボタンを再度5～6秒間押す



受信機…5分後自動で切れます
〈解除方法〉
電源ON状態で電源【強】ボタンと電源【弱】ボタンを同時に長押し

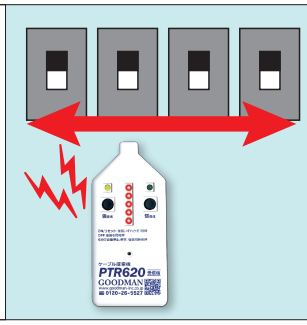


3 探索方法(目的線を自動検出します)

ブレーカーの探索

受信機の【弱】ボタンを押しブレーカーに繋がるケーブル部分を受信機の先端部で触れて探していきます。

ブレーカーの保護カバーで覆われているなどによって、【弱】ボタンでの探索が難しい場合は【強】ボタンで探索ができます。
(探索範囲:カバー上から約30cm以内)



ケーブルの探索

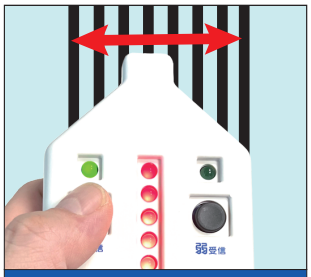
送信機の電源をONにし、「オープン」のLEDが点滅します。
さらに受信機の電源【弱】ボタンを一回押し、探索していきます。

芯線に直接接触させて探索することもできます。強い信号音とLEDが点滅する線が送信機に対応する線です。



⇔の範囲をゆっくりと往復させて1本のケーブルのみが反応するまで絞り込みを行います。

4 リセット方法（感度を最高レベルに戻します）



強受信モードリセット

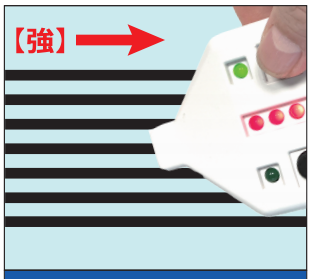


弱受信モードリセット

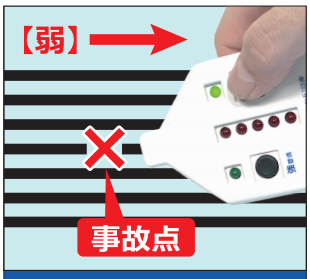
本機のマイクロプロセッサーは【強受信モード】【弱受信モード】共、目的線に近づくと自動的に受信感度調整されます。
目的線がわかりにくくなった場合はそれぞれのモードの電源ボタンを押してリセットを行うことで最大感度に復帰させることができ、再度確認が行えます。

①強受信モードの際、遠距離で受信感度が低くなった場合、電源【強】を一回押してリセットさせ受信感度を最大にします。
②弱受信モードの際、近距離で受信感度が低くなり過ぎて全く反応がなくなった場合、電源【弱】を一回押してリセットさせ受信感度を最大にします。

5 事故点検出（ケーブルのオープン・ショート・漏電箇所の検出ができます）



受信感度【強】



受信感度【弱】

デジタル式送受信方式の採用でケーブルの障害箇所から生じるわずかな信号の変化を的確に捉えることができピンポイントの事故点検出が行えます。

①ショート：それぞれの回線にクリップを接続
②オープン：単線時は単線とアースにクリップ
　複線時はそれぞれの回線に接続
③漏電箇所：単線と同じ接続方法（1MΩまでの漏電に対応）
　●受信感度が急激に弱くなる箇所が事故点になります

6 活線・不活線トーン識別（音の違いで電圧の有無を確認できます）

探索するケーブルが活線と不活線で異なるトーンが聞こえます。
ブレーカーの入切で目的線の確認ができます。

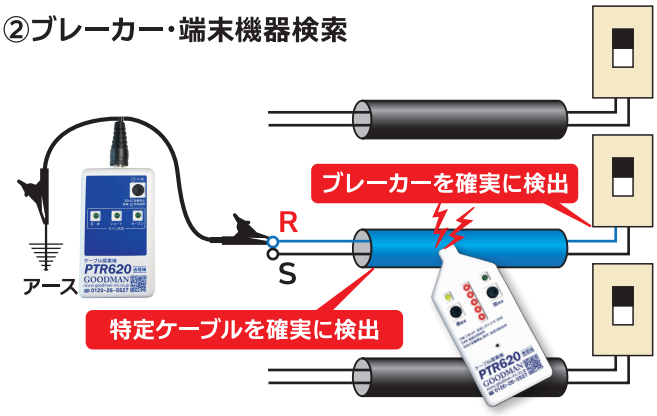


探索例

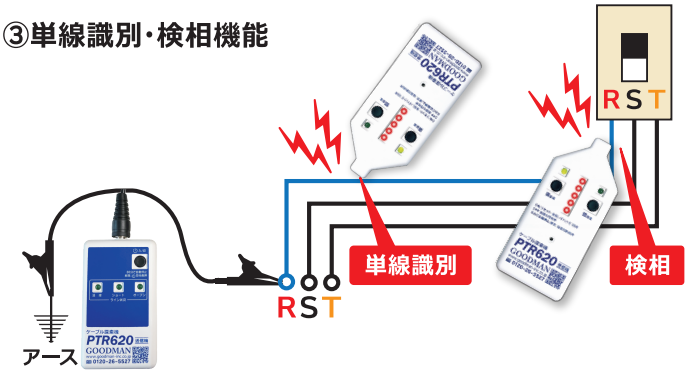
①配管ルート探索



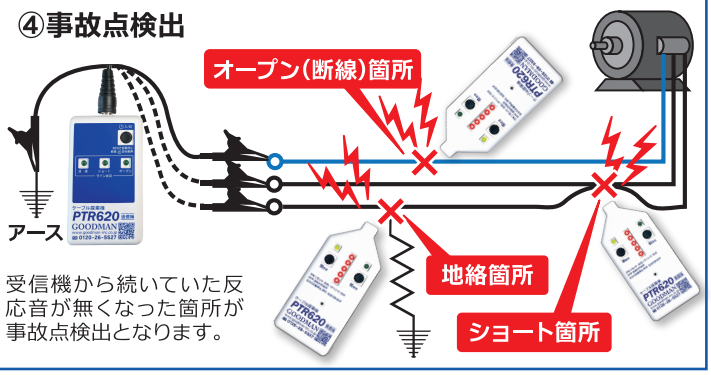
②ブレーカー・端末機器検索



③単線識別・検相機能



④事故点検出



受信機から続いていた反応音が無くなった箇所が事故点検出となります。

お問合せはこちらへ▶ GOODMAN ☎ 0120-26-5527
PTR620 簡単取扱い動画公開中！